

事業所における児童発達支援自己評価結果（公表）

ほっと

		チェック項目	はい	△	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	1	2	・スペースは十分でないが、物品の位置や利用者との関係を考えながら動いている ・マット等を利用してリラクセスできる場所を作っているが、多目的室の有効活用ができていない	多目的室で個別等活動にでも活用できるようにしていく
	2	職員の配置数は適切である	4	2		基準より多く配置している	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	2		・生活空間は四季を感じられるように、季節ごとに、季節を感じる物を制作して飾ったり、シールなどを利用して視覚的に明るい空間になっていると思う。 ・フンフロアーのため、個々の空間作りや生活内での環境づくりの検討がまだまだ必要である	多目的室で個別等活動にでも活用できるようにしていく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	2		・心地よく過ごせる環境であると思うが、生活介護の利用者も一緒にいるので、活動によっては集中できない場合もあった。多目的室をもっと利用したり、感覚統合ルームなども活用出来たらと思う。 ・フンフロアーの中で、季節感等が出せる様な作品作りなど工夫しているが、個々の活動内容までには対応できていない ・明るく楽しい雰囲気だが、物がごちゃごちゃしている。シール・装飾物が多いきもする。もう少しスッキリさせたい ・狭い空間の中で工夫していると思う。もう少し視覚支援がしっかりできるよう整理する必要がある。用途にあった空間の設備が必要	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	1	1	非常勤勤務の職員もいるため、全てにおいては難しい。提示することによって伝える事はできても、話し合いまでまでは難しい	年数回非常勤も参加できるように会議を開催する
	6	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		1	・評価表は未実施だが、送迎の際に保護者の意見をききとるようにしている。 ・評価表による評価は実施されていない。保護者からの意見等を把握しようとはしている ・年1回アンケートを実施している ・今後の課題	
	7	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	1		4	公開していない ・今後の課題	今年度より公開
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			5	外部評価をしていない 今後の課題	外部評価をしていない 今後の課題
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		1	・各自、研修に参加する等して、自身の質を向上させようと努力している ・個人的な自主研修はあるが、全体では研修としてはなかなか時間がとれていないように思うが、今後はそのような機会があってもよい ・まだ充分であるとは思えないが、現時点においては出来るだけの事は行えていると思う 研修の機会を与えられている ・集団リハの中で運動・発達などの講義をふまえながら実技を行っている	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5			・情報収集を行う方法を検討する必要があると感じている ・定期的に保護者からのニーズを聞く機会が必要	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1	2	アセスメント方法、情報の処理と記録、それらを計画に結び付けていくには訓練が必要である ・使用していない ・独自のアセスメントシートを使用している	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	1	2	・子どもに応じて医療的ケア・姿勢保持を考え、それを大切にしながら、日中の活動支援では色々な体験や五感を使って感覚を養っていけるようなプログラム作り、又遊びを通して楽しむことを共有していきたい ・すべての職員がガイドラインの内容をまた把握・理解できていない点もある	全ての職員がガイドラインの内容を把握でき、支援できるようにしていく

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画に基づいて、生活、活動、食事、姿勢保持などよりよい1日がすごせるように支援しており、スタッフ全員が愛情をもって取り組んでいるように思える。 ・支援計画を行ってから、実施できているのかの振り返りが不十分なところもある ・児発・放デイ・生活介護の方々が同じ空間で過ごすことが多いため、今後ひとりひとり年齢に応じた支援を考えていくことが課題である 	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・チームでの話し合いの時間を持っている ・意識して行っているが十分ではない。今後の課題である 	
	15	活動プログラムが固定化しないように工夫している	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・固定化しないように月案を立てる時に確認しながら立てている ・固定化しないようにと考えているが、どうしても固定化傾向になりがちである ・意識して行っているが、十分ではない。今後の課題のひとつ 	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の配置人数により、なかなか個別時間は取りにくい、積み重ねが必要なので、子供の状況に応じて今後は取り組みたい ・活動と計画を結び付けて考えていないときもある ・意識して行っているが、十分ではない。今後の課題のひとつ 	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2	4	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回支援内容の細かい打ち合わせはしていないが、大まかに確認している ・送迎の関係により出来てない時もある ・必ずではない ・意識して行っているが、十分ではない。今後の課題のひとつ 	支援開始前の打ち合わせ方法を検討する
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・活動終了後には振り返りを行い、利用者さんがどんな様子だったか情報を共有している ・送迎の関係により出来てない時もある ・必ずではないがほぼしている ・意識して行っているが、十分ではない。今後の課題のひとつ 	支援開始後の打ち合わせ方法を検討する
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・記録方法や内容については今後検討が必要である ・記録はとれているが、なかなかつなげることが難しい ・記録をもう少し詳しく書けるようにしたい 	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		6カ月に1回カンファレンスを実施している	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・最もふさわしいかわからない ・児発管が主任が参加 	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	1	3 他の機関との連携が難しい	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	3	1	<ul style="list-style-type: none"> 2 連携した支援を考え、行うようにしているが、まだ不十分なところもある ・他の機関との連携が難しい ・法人内のリハスタッフと情報交換を行っている 	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	1	<ul style="list-style-type: none"> 2 連携した支援を考え、行うようにしているが、まだ不十分なところもある ・他の機関との連携が難しい ・法人内の医師と情報交換を行っている 	
	25	移行支援として、保育所や幼稚園、認定こども園、特別支援学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解をはかっている	3	1	2 連携した支援を考え、行うようにしているが、まだ不十分なところもある	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解をはかっている	3	1	<ul style="list-style-type: none"> 1 連携した支援を考え、行うようにしているが、まだ不十分なところもある ・出来る範囲で図っている 	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	1	4 受けていない	情報交換は必要に応じて実施できている

	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある			6	特でない ・時間的に難しい	重心で外出する機会が難しい
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6				
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	1		1日の様子を子どもに応じてなるべくわかりやすく報告するように努めている ・情報を伝えるのが送迎時になることが多いので、充分だと言えないこともある ・送迎の時に余裕がある時のみ	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		1	5	リハの視点から行っている	
	32	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6				
保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	1		ガイドラインのねらいは説明できていない	支援計画書の説明時必要に応じてねらいも説明していく
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	2		定期的に行えていない。相談をする時間を設けていないので、全てにおいて対応できていないと思う。	必要に応じて実施しているが、もっと相談しやすい方法を提示していく
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	1	4	・夏祭り後の懇親会や、送迎時などで保護者様に出会った時に話しているが、連携を支援するまでは難しい ・保護者会がないが、年に1度夏祭り後に開催	夏祭り後以外も開催できるように検討する
	36	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	1	1	・迅速にNs,PTが対応して発信している ・相談があったときには答える様にしているが、しているつもりになっているかもしれない。親の立場からするといつどのように言っているかわからないかもしれない	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			月頭にお便りを発行したり、HPで写真を掲載している ・月に1度	
	38	個人情報に十分注意している	6				
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	1		先入観や思い込みではなく、子どもの行動の前後の様子から思いを読み取るように努力している	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			6		今後検討する
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	1		5	・保護者に周知できていない ・マニュアルが不十分。	今後定期的 to 実施し、家族様に明確に報告する
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1		5		今後定期的 to 実施し、家族様に明確に報告する
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	1		不十分などところもある ・予防接種は確認できていない	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	1	2	・食事を持参してもらい対応している ・アレルギーに関しての情報は収集しているが、医師の指示書はない ・保護者からの対処法のみ	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	2		不十分などところもある	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	1		4	虐待に関するところは行えてない	虐待に関する研修を実施していく
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達計画に記載している	3		1	身体拘束禁止規程を策定している	

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

ほっと

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	3			1		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	3			1	とても安心できています	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3			1	車椅子でもスムーズです	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4				とても気持ちがいい空間です	
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析されたうえで、児童発達支援計画が作成されているか	4					
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3			1	難しい言葉はわかりませんが、たまの利用なのに、とても丁寧に支援を考えて下さり、また、適切に対応して下さいるので、安心してあずけられています	
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4					
	8	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	4				家ではできない様々な体験をありがとうございます。	
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか				4	地域が違うので…	
保護者への説明等	10	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4					
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	4					
	12	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援が行われているか	4					
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	4					
	14	定期的に、保護者に対して面談や育児に関する助言等の支援が行われているか	4				相談すると、その場で対応して下さいありがとうございます。お忙しい中ありがとうございます。	
	15	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援されているか	1			3	夏祭りとても楽しかったです。後の懇談会は兄弟児も一緒だったので残念ですが不参加でした。	夏祭り後のみ実施しておりますが、今後回数を増やしたいと思います。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れがあった際に迅速かつ適切に対応されているか	4					

	17	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4					
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	3			1	たくさんの写真が載っていて、自分の子を探す楽しみがあります。活動がよくわかります。	
	19	個人情報に十分注意されているか	4					
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練を実施されているか	1			3		適宜実施しておりますが、今後もしっかり周知していきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているか				4		適宜実施しておりますが、今後もしっかり周知していきます。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	3			1	迎えに行った後や写真から楽しかった様子がよく分かります	
	23	事業所の支援に満足しているか	4				とても満足しています	